

令和4年度 高千穂町立押方小学校 学校評価書

本年度の学校経営ビジョン 『「地域とともにある学校」を基盤とし、学校・家庭・地域社会が一体となり、「チーム押方」として協働し、小規模校の強みを最大限に生かし、児童一人一人の「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」を伸ばす教育活動を展開する。』子どもの成長を実現し、信頼される学校をめざす「押方小ならではの教育」

重点指導事項	手段・ゴールイメージ	自己評価				結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント
		児童	保護者	教職員	総合		
1 自他の生命の尊重	○命についての指導を充実させ、学校評価において、「自分や友達の命を大切にしている」と評価する子どもの割合が8割以上を目指す。	100.0	89.8	75.0	88.3	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童のアンケート結果から、子どもたちが自分の命や友達の命を大切にしている行動をとっていることが分かった。 ◆本年度の重点指導項目として取り組んだ成果があったといえるが、道徳の授業で価値項目を重点化することはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校を生かし、学年の枠を越えた幅広い交流により、嫌がらせやいじめのない、互いに思いやる行動あふれる学校であり続けることを願っています。 ・いろいろと事件が多い中で、押方小の子ども達は命を大切にしている行動をとっているということで安心をしています。 ・過疎化の結果とはいえ、少人数教育の成果が反映されていると感じる。CRT検査が3%以上の結果はどうなったのか知りたい。 ・情報化社会、日々のニュースで受ける命の大切さ、日々の教育、痛みを知る教育も。 ・道徳の授業の大切さを改めて感じます。 ・命を大切にすることは、いいことだと思います。いじめをなくしてください。 ・一人一人が生命の大切さを分かってほしいと思います。
2 学力の向上	○「わかる、できる」の4つの視点を基にした授業の工夫を行い、学習内容が「わかる」「できる」と評価する子どもの割合が8割以上を目指す。 ○CRTの全国比が、国語、算数ともに昨年度より3ポイント以上上回ることを目指す。 ○授業の相互参観を行い、学力向上・ICT活用に向けて、授業力向上を目指す。	94.8	85.3	87.5	89.2	<ul style="list-style-type: none"> ◆今年度は学力向上と授業でのICT活用に取り組んだ。児童のアンケート結果では、学習の理解度に自信をもっている児童が多いことが分かる。 ◆ICTの活用については、町教育研究会でも本校の授業実践を発表することができた。 ◆今後、CRTの結果の分析をしっかりと行い、さらなる学力向上に取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習の理解度に自信をもっているということは、大変よいことだと思う。 ・子どもの能力、知力、覚力、見て考える力、などすごいと思います。 ・小規模校の強みとしての、学力の向上や思いやりのある押方小学校に期待をしています。 ・パソコンやタブレット、携帯電話等の情報通信技術で遊び学ぶ機会が多く、情報化社会では、膨大な情報から必要な情報を的確に得ることが求められる。学校のICTの活用授業で子ども達の情報収集能力も上達することを期待している。 ・ICTの取組は今後益々大事なものであると思います。
3 健康・安全の充実	○すこやか週間の取組や保健だよりの充実を図り、家庭と連携して、よりよい生活習慣の定着を目指す。	92.6	78.4	91.0	87.3	<ul style="list-style-type: none"> ◆アンケートから、よりよい生活習慣については、児童はしっかりと身に付いているという意識が高いが、保護者は、もう少し高めたいと思っているという結果が出ている。 ◆今後も家庭と連携して、よりよい生活習慣の定着を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身共に健康に育つように家庭での見守りが大切だと思います。 ・学校現場も大変とは思いますが、家庭での取組や努力、親だからできる教育も必要と思う。 ・保護者が生活習慣について意識を高めたいというのは分かります。学校と連携をして頑張ってください。 ・校長先生や地域の見守り隊による登校指導は、学童の健康状況把握や時間厳守等、生活習慣の基盤として定着している。 ・学校教育より家庭教育が優先されることは言うまでもないこと、学校教育に負担をかけないような保護者教育が必要と考える。 ・保護者ガンバレ。
	○学校評価において、メディアについて家のルールを守っていると評価する子どもの割合が8割以上を目指す。	95.5	67.0	85.8	82.8	<ul style="list-style-type: none"> ◆メディアのルールについては、児童は守っている意識が強いが、保護者の感覚とは大きな違いが見られる。 ◆保護者のアンケートから、家庭のルールや時間を守っていないという困り感が伺えた。 ◆実態調査をふまえ、「メディア利用のルール」を活用してメディア教育をさらに充実させていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアのルールについて、学童95.5%、保護者67% 何だかこの差、この数値は理解できます。何方も正直な値に成りました。 ・私の経験からも子どもと話し合っただけでテレビ等の見る時間を決めたことがありました。 ・子どもと親の認識の違い、子どもの主張と親の思い、格差が大きいことを子どもにどう伝えるかも。 ・家庭での躾が基本だと強く感じます。
4 信頼される学校づくり	○地域素材や人材を生かした教育活動を充実し、学校評価で地域のことが好きと答える児童の割合が8割以上を目指す。 ○学校便りやホームページを通して、保護者や地域の方々への情報提供の充実を目指す。	98.5	89.8	95.0	94.4	<ul style="list-style-type: none"> ◆ふれあい交流会を実施することができ、地域の方とのふれあい活動を楽しむことができた。 ◆児童のアンケート結果から、「『押方』のことが好き」と答える児童が多く、その気持ちを大切にしながら、今後も地域素材を生かした教育活動の充実に努めたい。 ◆学校便りやホームページを通して、保護者や地域の方々への情報提供を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流会では、子ども達は臆することなく、高齢者等の参加者と交流し、楽しい時間を過ごすことができました。高齢者の皆さんはコロナウイルスの早い収束で、以前のような交流を待ち望まれています。これからも、地域と連携した活動を充実させたい。 ・ふれあい交流会を楽しみにしています。押方のことが好きと言ってきて嬉しかったです。教育の基本だと思います。 ・毎月の「学校だより」の校長先生の文献も最高です。森の学校、押方小学校の良さと思い、学校現場と地域で子どもに伝えていきたい。 ・ふれあい交流会に出席できませんでしたが、児童のみなさんは充分感じ取っていることと思います。 ・少人数の生徒で、地域と交流がうまくいっています。 ・ふれあい交流が長く続くといいですね。 ・学校だより、情報提供、今のままでいいと思います。 ・情報提供もよろしくお願いいたします。 ・押方小全体で良くできていると思います。

○ 子どもの教育に、保護者・教職員で頑張ってください、感謝申し上げます。評価コメントは特にありません。これからも子どもの成長、信頼される学校を目指し、ご尽力をお願いします。私どもも引き続き支援したいと考えております。